



高速しが

平成29年
6月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

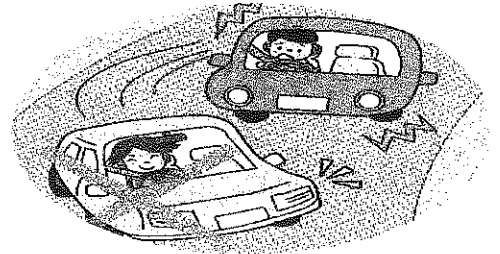
梅雨期の運転に注意!

❑ むやみに進路を変更しない

バックミラーに付いた水滴や他車の水しぶきなどで視界が悪くなり、走行車両の発見が遅れることで事故の危険性が増加します。

❑ 速度を落として車間距離に注意

雨の降り始めは特に路面が滑りやすくなります。スピードを落とし、前車との車間距離は長目とりましょう。



❑ 急ブレーキ急ハンドルは厳禁

雨で路面が濡れているときの摩擦係数は、乾燥時の2分の1となり、非常に滑りやすい状態です。

❑ わだちの窪みに注意

道路にできた車のわだちにたまった水たまり部分では、ハンドルを取られ易いので注意しましょう。

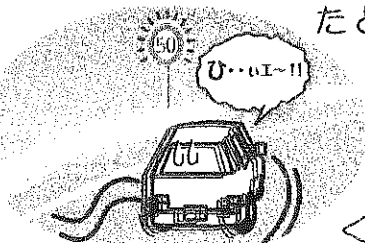
❑ ライトを点灯する

雨の日は薄暗くなり前方車両が見えにくくなります。ライトは早めに点灯し自車の存在を知らせましょう

★ハイドロプレーニング現象に注意!★

ハイドロプレーニング現象とは、わだちなど水が溜まった場所を走行すると、タイヤと路面の間に水が入り込み、タイヤが水上を滑走するようになって、ハンドルやブレーキが利かなくなる現象です。

走行中タイヤが浮いたような感じがしたら、ハイドロプレーニング現象が発生したと判断し、ハンドルをしっかりと持ちアクセルを少しずつ戻してスピードを緩めタイヤのグリップの回復を待ちましょう。



慌てて急ハンドルを切ったり、急ブレーキを踏むと車がスピンして事故の原因となりますから、絶対にやめてください。

忘れずに 全席シートベルトの着用を!!

車で走行中、乗車している人は車と同じ速度で進んでいるのです。人と車は一心同体、車が急に止まれないように、人の体も急には止まりません。

特に高速道路では時速100キロメートルという高速で走行するため、シートベルトをしないで衝突した場合、その衝撃を支えきれずハンドル、フロントガラス、左右のドア等に打ち付けられてしまいます。後部座席では、前席、フロントガラス、後部ガラス等思わぬ方向へ飛ばされ車内部位に打ち付け、時には窓ガラスを打ち破ったり、開いたドアから車外に放出されることもあります。

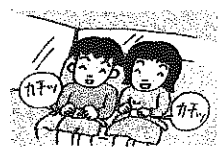


車外へ放出されると、路面へ打ち付けられる衝撃の大きさや、後続車に撥ねられるなどして、亡くなるケースもあるのです。

後部座席では、衝突時にハンドルやフロントガラスに直接ぶつかることはなく、シートベルトは必要ないと考えがちですが約7割が非着用で亡くなっています。

知っていますか? シートベルトの正しい使い方

- ※ 腰ベルトは腹部にではなく腰骨にかかるようにしましょう
- ※ ベルトはねじれのないようにしましょう
- ※ 肩ベルトは肩の中心位置になるようにしましょう
- ※ バックルは「カチッ」の音を確認しましょう



NO!!

高速道路は一方通行です!

※ 行き先を間違えた! 行き過ぎてしまった!!

- ・次のインターチェンジで降りてください。
- 本線上や料金所付近では絶対にバック・リターンはしないでください。

※ 逆走を発見したら!

- ・速度を落とし、十分な車間距離をとって、通行帯の最も左側を走行しましょう。前方に逆走車があれば、路肩等の安全な場所に停車して衝突を避け、110番又は道路緊急ダイヤル(#9910)で通報をお願いします。

